

信頼度NO.1のがん実用誌!

# がんサポート

## 胃・食道がん特集

# 6

2012 Vol.111  
定価 1,200円

機能温存の低侵襲治療 高齢胃がんの化学療法  
胃がんの腹腔鏡手術 食道がんの術前化学療法  
胃がんの最新薬物療法 食道がんの放射線化学療法

## がんの栄養

経腸栄養の力  
化学療法の栄養サポート

生きる力が沸く「キレイ塾」

ホームページ <http://www.evidence-inc.jp>  
がんサポート情報センター <http://www.gsic.jp/>  
がん暮らしサポート <http://www.gankurashi.jp/>



# IMRTでがんによって溶けていた骨が修復 全国から進行・再発の患者さんが！ 放射線治療専門のクリニック

「たとえ再発しても、がんが小さいうちに放射線で治療をすれば仕事にも復帰できるし、家でこれまでと同じような生活を送ることができるんです」。こう話すのは、都島放射線科クリニック名譽院長の井上俊彦さんだ。ここでは、放射線治療専門のクリニックとして、全国からやってくる進行・再発の患者さんの治療にあたっている。

取材・文●がんサポート編集部

## 半分以上は進行再発の患者さん

大阪市の地下鉄都島駅から歩いて約10分。住宅街の中にクリニックは診療所を構える。

「北海道や東京など、遠方からも患者さんが来られます」

こう話すのは、都島放射線科クリニック名譽院長の井上俊彦さんだ。患者さんの半分以上は

病期が4期の進行・再発のがん患者さん。とはいえ、患者さんのほとんどが、全身状態がいい

人ばかりで、「何か他に治療法はないか」と、井上さんのクリニックを訪れるという。

同じ4期でも、大きな差が

井上さんが放射線腫瘍医とし

て、国内初の開業に踏み切ったのは2007年4月。03年まで、

大阪大学医学部付属病院で、放射線によるがん患者さんの治療

にあたっていた井上さんは、大学病院を退官後、いくつかの病

院で放射線治療に携わっていた。しかしそこで、あるジレンマが

生まれてきたという。

「それまで大学病院に長年居て気がつかなかったのですが、放

射線の治療技術は進んでいる一方、患者さんにその技術がうまく

行き渡っていかなかったり、逆に、患者さんがこういう治療を

受けたいと思っても、受け入れられる施設がなかったりするケース

がたくさんあったんです」

例えば前立腺がんに対して、

IMRT（強度変調放射線治療）といった、

ピンポイントでがんを照射する治療を受ける

にしても、大学病院などで受ける場合には予

約でいっばいで、「6カ月先ですよ」と言わ

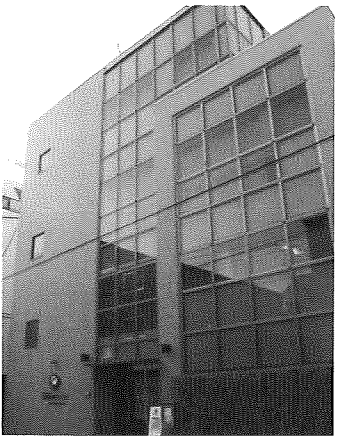
れてしまうのが現状。

病状が比較的ゆっくり進行する前立腺がんとはいえ、なかには

治療をするときには、病状が進んでしまっているケースもあつたという。

また、再発した患者さんの治療に対して、「もつと早い段階から放射線治療を行って

いれば、いい状態を保つことができたと」



大阪市の地下鉄都島駅から徒歩で約10分の都島放射線科クリニック

りません」というのは、どうかと思いましたが

放射線治療を受けるべき患者さんがきちんと受けられるように

——そんな思いから、井上さんはクリニックを開設した。

## IMRTを駆使した治療

現在クリニックでは「ノバリス」という最新の装置を用いて

治療を行っている。治療装置の先端部には、薄さ3mmのコリメ

ータと呼ばれる放射線を絞り込む装置が搭載されており、この

金属ブロックにより、がんの形に放射線を絞り込んで照射する。

またこの装置では、IMRTと呼ばれる治療にも対応しており、

がんの形に沿って照射する上に、さらに照射線の強弱もつけて

行うことも可能だ。なかには、このIMRTによって、病状が

非常によくなった患者さんも

る。

60代の男性で中咽頭がん。

胸椎と縦隔リンパ節に転移

しており、井上さんのもと

を訪れたときには、胸椎に転移

したがんによって骨が溶け、痛みが出て歩くこともままならな

かった。

「この方の場合、胸椎に転移し

た部分に照射を行おうとすると、

どうしても脊髄にまで放射線があ

たつてしまいます。もしその線量

が強ければ、脊髄麻痺となり、

下半身麻痺を起すしかねません。

ですから、IMRTによって、脊

髄の部分は安全な線量に抑えて、

がんの部分には十分な線量がい

くよう、治療をしました」

実際、この方には脊髄になる

べく放射線があたり

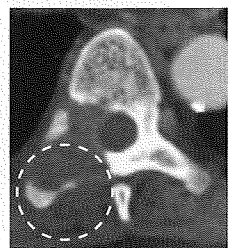
ないよう、IMRT

で50グレイの照射を行

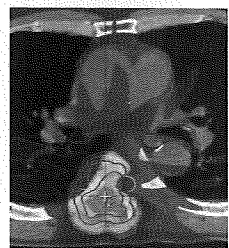
ったところ、転移のため溶けていた胸

椎の骨が、修復してきたとい

う。



治療前



IMRT治療



治療後

IMRTが非常によく効いた中咽頭の患者さん。転移のため溶けていた胸椎の骨が、IMRTによる放射線治療によって、骨が修復した

た状態が、治療後はゴルフもできるようになりました」

こうした特殊な治療を受けられる点が、このクリニックの最大の特徴といえるだろう。

再発しても早期に放射線治療を

現在身体別でみると、肺、前立腺、肝臓、骨などへの治療が

多く、そのほとんどが総合病院や大学病院などからの紹介だ。

もし患者さんが治療を受けた

「たとえ再発しても、がんが小さいうちに放射線で治療を

すれば仕事にも復帰できるし、家でこれまでと同じような生活を送ることができ

るんです」

患者さんの約半分がステージ4の進行・再発の患者

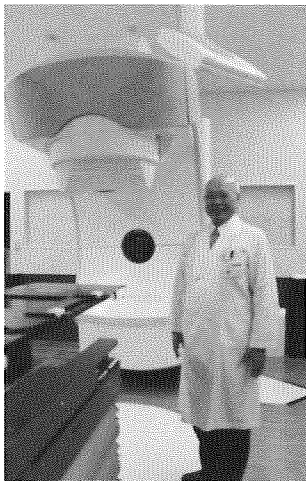
さんという都島放射線科クリニック。再発しても、あ

きらめなくていい——全国からやってくる患者さんは

それを物語っている。

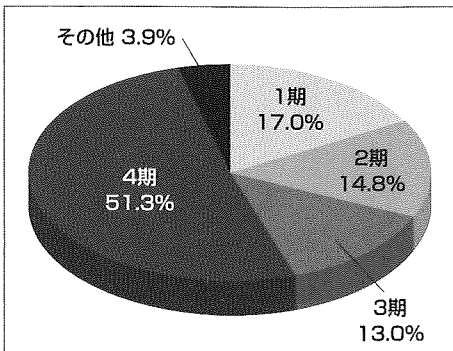
⑤

都島放射線科クリニック  
〒534-0021 大阪市都島区都島本通1-16-22  
TEL:06-6923-3501  
FAX:06-6923-3520  
URL:http://www.osaka-igr.or.jp



都島放射線科クリニック名譽院長の井上俊彦さん

都島放射線科クリニックの病期別患者さん分類(2007年4月~2011年6月)



都島放射線科クリニックでは、患者さんの半分以上がステージ4の進行・再発の方だとい